

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

静かな散策路を歩いて

9月下旬になって礼文林道に行くとイブキジャコウソウがまだまだ美しい花を咲かせていました。よく見るとチシマフウロ、レブンソウ、キジムシロまで季節を忘れて咲いています。でもこの時期に似合うのはイワレンゲとアサギリソウ、そしてノコンギクですね。江戸屋山道を歩くとイワレンゲは車道脇に、5cmくらいの親指のようなものによきによきと立っています。アサギリソウは夏の間も白緑色の葉をモコモコと岩肌に飾っていました。紅葉したチシマフウロやチシマワレモコウの葉っぱに混じって白い葉が目立ち、クリーム色の小さな花を茎の先にちりばめて咲いています。エゾノコンギクは薄紫色をした野菊です。桃岩の駐車場までの車道沿いや緑が丘森林公園などで見られます。礼文岳登山道や森林公園の小道ではツルリンドウが咲いています。薄紫色の地味な花を咲かせながらルビーのような赤い実を実らせています。ナナカマド、ミヤマガマズミ、マイヅルソウ、マムシグサなどいろいろな赤い実を探すのも面白いです。



2001.10.06.

やませの森・秋植樹2002

10月6日(日)午前9時30分 ~

緑が丘森林公園管理棟前集合

毎年毎年、自分の植えた木が育ってゆく様子を見ていきませんか。森にはいろいろな植物、動物が育っています。みんなで一緒に楽しく学びましょう。汚れても良い作業服で来てください。飲み物、お弁当は各自持参



レブンイワレンゲ 2000.10.06.金田岬

9月23日に元地灯台から利尻島を眺めながら知床に下ってくると、真っ青な海に黒く丸い固まりがひとつふたつ見えています。双眼鏡で良く見るとウミウヤカモメが群れて海面でしきりに何かをついばんでいます。魚が群れているようです。しばらく眺めていると、徐々に海の色が黒から青に薄れていき、やがて消えました。そしてまた別ところが黒くなって、カモメが集まっています。昨年は9月上旬にサンマの群が沖の海の上にきらきらと光るほど見たことがありました。晩には大漁した方からサンマが届き、刺身にした記憶があります。今年も何か秋のめぐみが浜から届かないかと期待しています。

8月の自然日誌

1日雨のち晴れ19.9度
 2日晴れのち曇り・香深昆布漁（晴れのち曇り）
 3日晴れときどき雨、晚一時大雨。4日霧曇（香深）
 5日曇のち雨23.1度晩雨
 ・森林公園（オオヤマサギソウ、ツルリンドウ）
 （アカモミタケ出てる）（コマドリ、ヒガラ）
 6日雨のち晴れ18.7度・富士見ヶ丘（ネジバナ）
 7日晴れのち曇り21.6度・利尻クッキリ
 ・桃岩登山道（イチゲフウロ、クルマバナ、ハナイカリ
 ミミコウモリ、ミヤマトウバナ）（コエゾゼミ鳴く）
 8日雨のち曇り16.2度。波高い。
 9日晴れ17.6度。1012hpl・晩香深花火大会
 10日晴れ・やませ寒い。16.9度
 ・江戸屋（ツリガネニンジン、レプトウヒレン）
 ・羽の折れたオオセグロカモメ（かもめ荘前）
 11日晴れ15.3度。香深午後昆布漁。
 12日晴れ・羽折れたオオセグロカモメ（宗谷バス）
 13日曇のち雨18.5度。14日雨のち晴れ20.0度
 15日曇ときどき雨21.1度
 16日晴れのち雨のち曇り21.6度・早朝利尻クッキリ
 17日晴れ17.1度。利尻クッキリ
 18日一日雨18.7度・礼文岳中止。・晩星綺麗
 19日曇一時晴れ17.5度。
 ・久種湖（エゾタツナミソウ、ホソバヨツバムグラ）
 （アオジ、キジバト、コヨシキリ、マガモ）
 ・鮑古丹（エゾツルキンバイ、ハマウツボ）
 20日曇りのち雨15.2度・仮装盆踊り中止
 21日雨のち晴れ14.3度・利礼航路午後欠航。
 22日晴れ19.6度・利尻見えた。
 ・ウスユキソウ群生地（ヤナギタンポポ）
 23日晴れ22.7度風5M・桃展シオガマグク白花
 24日雨ときどき晴れ19.8度。晩大雨
 ・大沢川河口（トウネン28）村上
 ・船泊バイパス（トウネン4、メダイチドリ2）
 ・金田岬（アカエリヒレアシシギ1、キアシシギ3）
 ・船泊バイパス（トウネン9）宮本
 ・五番地（マス釣りの人が集まる）
 ・マミジロ保護-知床森尾（26日放鳥）
 25日雨のち晴れ18.2度・晩星綺麗。
 26日快晴21.1度、利尻クッキリ。27日晴れ・晩雨。
 28日雨。29日曇晩雨21.0度。
 30日曇晩雨17.1度・ベンサン花園（リシリブシ）
 31日晴れ19.4/21.7/20.6/18.7度
 ・宇遠内山道帰化植物除去
 ・桃岩下、桃岩展望台オオアワダチソウ除去

標識を付けたウミネコの情報募集中！

- ・ウイングタグ（水色利尻島、赤色天売島）
- ・カラーリング（赤利尻、黄天売、緑枝幸、青奥尻）

ミミズハゼ

9月20日礼文滝下で石の下にいる小魚がKさんによりつかまえてきました。元地のHさんによれば小さな頃川でつかまえてドジョウと呼んでいたそうです。内路のKさんも昔つかまえた事があるそうです。

「山溪フィールドブックス 淡水魚」から
 全長8cm。日本各地に分布する。河川の汽水域、淡水域、淡水がしみ出る海岸の潮間帯などに生息する。石の下などに潜み、夜間に石の下から顔を出す。動物プランクトン類などを食べる。体型は著しく細長く、頭部は体長に比べて小さい。底棲性で、水底をはうように動く。鱗、側線はなく、目も退化的。

ヒナコウモリ

Vespertilio superans Thomas, 1898

ヒナコウモリ科 Vespertilionidae

9月23日午前7時頃・礼文島香深字尺忍ニューカトウ売店前でコウモリが保護されました。シャッター下に落ちていたそうです。今までに礼文島ではウサギコウモリ、コテングコウモリ、キタクピワコウモリの3種類の記録がありました。今回のヒナコウモリは礼文島初記録の4種類目のコウモリとなりました。

分布：シベリア東部、中国東部、台湾、日本に分布する。日本では北海道、本州、四国、九州からの採集記録があるが、繁殖地として確認されているところは現在たいへん少ない。

形態：前腕長47～54mm、頭胴長68～80mm、尾長35～50mm、体重14～30g、黒褐色系の体毛に先端の白っぽい刺毛が多数混ざり、霜降り状に見える。

生態：大木の多い地域では一年中集団で樹洞を昼間の隠れ家にして利用する。冬眠の時にはそこからいなくなるが、冬眠場所については知られていない。日没後まもなく隠れ家から飛び出し、飛翔している昆虫類を捕食し、日の出前に隠れ家に戻る。初夏に1～3仔、多くは2仔を雌親ばかりの100頭を超える出産、哺育集団で出産する。授乳期間は約35日であり、出生仔は生後5～6週間でほぼ親と同じ大きさになる。雌雄ともに生まれた年の秋に交尾に参加するため、雌は満1歳で出産する。（前田喜四雄 日本の哺乳類（日本産コウモリ目）東海大学出版会）

「礼文島移入植物フォーラム」を終えて

9月22日は五十嵐博氏講演会、23日は移入植物除去作業を行ないました。島には明治時代以降に侵入した植物がおよそ100種あります。桃岩展望台では「アカツメクサ、シロツメクサ、オオアワガエリ、カモガヤ」に焦点を当てて除去作業を行いました。私たち参加者は講演や除去作業の中で、貴重な原生花園に移入種が進入している現状をより深く理解できたと思います。人がたくさん訪れる私たちの自然公園を原生のままに維持する事は無理だと思います。でも継続的な移入植物除去は少しでもその進入をくい止められることでしょう。宮本誠一郎